

令和4年度 事業報告

令和4年度の社会情勢としては、新型コロナウイルスの感染拡大した時期があったものの死亡率が低下したことから、厳しい行動制限も取られることはなく、経済も落ち着きを取り戻した中、家庭内需要、中食需要の増加と一定数のインバウンドの戻りにより、コロナ発生前の8割ほど経済が回復したと報道されています。

一方で、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻による燃油の高騰が引き金となり、世界規模でのインフレが加速したことと日米の金利格差により一気に円安が進んだことから、輸入コストが増大し、ガソリンや電気料金が大きく値上げされる中、畜産でも取りわけ配合飼料価格が上昇し、品目によっては2倍以上になるなど畜産業を行う上で大きな負担となっています。このような中、緊急対策として優良肉用子牛生産推進のための奨励金や配合飼料基金、牛の肥育ではマルキンが発動されるなど、国も対策を講じていますが、その効果は限定的であり、特に、酪農では生産物に対する補填事業がないことから、他の品種に比べて非常に厳しい経営環境にあり、全国的にみると酪農を廃業するケースが増加しています。

国内の特定家畜伝染病の発生については、CSF（豚熱）は、1都18県で85例が確認されています。また、いのししの陽性は山口県や高知県で確認されており、特に山口県ではイノシシ陽性事例が着実に関門海峡に近づいており、九州への侵入も時間の問題と言われてます。高病原性鳥インフルエンザについては、昨年10月下旬に岡山で初発後、4月末までに、84農場での感染が確認されています。殺処分された鶏が1700万羽を超えるなど、これまでない規模で発生が確認されました。残念ながら本県でも年明けに発生が確認されましたが、関係者の努力により速やかに殺処分による封じ込めが行われ、続発を防ぐことができました。

このような厳しい情勢の中で、当協会は県、市町、JA等の関係機関の協力を受け、国、県、農畜産業振興機構、中央畜産会等の事業に積極的に取り組み、経営支援対策、価格安定対策、家畜衛生対策等について畜産農家の支援を行い畜産経営の安定と畜産振興に積極的に取り組んでまいりました。

経営支援対策では、畜産農家の経営や飼養管理技術の改善等を図るため、畜産コンサルタント委託事業や畜産特別資金等推進事業など県振興局等関係機関と連携を図りながら指導の強化に努めるとともに、畜産クラスター関連事業をはじめ肉用牛経営安定対策補完事業などに取り組み、経営規模の拡大や生産効率化・省力化による生産者の収益性の向上を努めました。

価格安定対策では、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度や肉豚経営安定交付金制度等補填を必要に応じて実施しました。特に和牛肥育については昨年8月以降、交雑肥育、乳用肥育についてはほぼ通年で補てんの発動を行い、経営の安定化に向けた取組を行いました。

家畜衛生対策では、豚熱、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病に対する予防・啓発活動に取り組むとともに、ワクチン接種等による家畜の損耗防止を推進し、畜産経営の安定を図ってきました。飼養衛生管理基準の遵守など関係機関や獣医師と連携し自衛防疫の推進を図り、特に、飼養管理の向上を目指す生産者に対しては、地域農場HACCP認証支援事業により、制度の普及並びに認証取得に向けた支援をしてまいりました。

当協会の運営は、低金利による資金運用益の減少や価格安定対策業務の法制化により事業執行の変更に伴う事務手数料等の減少で厳しい状況にありますが、効率的な運営により経費の節減に取り組み公益法人としての目的を達成するために、役職員一丸となって取り組んでまいりました。

I 本協会の運営状況

1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	令和4年5月19日	令和3年度事業及び収支決算の監査	監事 3名	
理事会	令和4年5月25日	(1) 令和3年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について (監査報告) (2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について (3) 育児・介護休業規程の一部改正について (4) テレワーク勤務規程の制定について (5) 就業規則の一部改正について (6) 役員を選任(案)について (7) 令和4年度第1回通常総会の開催並びに提出議案の承認について	理事 8名 監事 1名	
監事会	令和4年11月28日	令和4年度上半期監査	監事 3名	
理事会	令和5年2月14日	(1) 令和4年度補正予算(案)の承認について (2) 令和5年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について (3) 令和5年度役員報酬の承認について (4) 令和5年度予防接種事業標準対価について (5) 令和5年度事業計画及び収支予算(案)の承認について (6) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について (7) 借入金最高限度額及び借入金金融機関等の承認について (8) 令和5年度以降の役員体制について (9) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について (10) 公益社団法人分県畜産協会の加入及び退会に関する規則の制定について (11) 財産管理運用規程の一部改正並びに特定費用準備資金等取扱規則の制定について (12) 総会の開催並びに提出議案の承認について (13) その他 報告事項 肉用子牛生産者補給金制度業務規程等に係る業務細則の一部変更について	理事 12名 監事 3名	

2. 通常総会の開催

第1回

開催月日・開催場所		令和4年6月10日・全農大分県本部301会議室
総会日現在会員数(A)		46会員
出席会員数	実出席会員数(B)	14会員(出席率B/A 30.4%)
	書面による出席会員数	31会員
	計(C)	45会員(出席率C/A 97.8%)

主要議案及び議決事項

- (1) 令和3年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について(監査報告)
- (2) 役員を選任(案)について

第2回

開催月日・開催場所		令和5年3月15日・全農大分県本部301会議室
総会日現在会員数(A)		46会員
出席会員数	実出席会員数(B)	16会員(出席率B/A 34.8%)
	書面による出席会員数	28会員
	計(C)	44会員(出席率C/A 95.7%)

主要議案及び議決事項

- (1) 令和4年度補正予算(案)の承認について
- (2) 令和5年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について
- (3) 令和5年度役員報酬の承認について
- (4) 令和5年度事業計画及び収支予算(案)の承認について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について

3. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本年度		本年度末 現在	備考
		増	減		
正会員	46	0	0	46	
賛助会員	1	0	0	1	
計	47	0	0	47	

4. 役員の状況

異動 区別	前年度末 現在	本年度		本年度末 現在	備考
		辞任	就任		
常勤理事	1	0	0	1	
非常勤理事	12	0	0	12	
非常勤監事	3	1	1	3	
計	16	1	1	16	

5. 従業員の状況

異 動 区 別	前 年 度 末 現 在			本 年 度 末 現 在			増 減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職 員	5	3	8	5	2	7	0	▲ 1	▲ 1
職員(出向)	2	0	2	2	0	2	0	0	0
嘱託(常勤)	3	0	3	3	1	4	0	1	1
パート職員	0	4	4	0	4	4	0	0	0
計	10	7	17	10	7	17	0	0	0

6. 令和4年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月 8日	第1回中央打合会 (WEB開催)	大 分 市
5月19日	令和3年度決算監査	大 分 市
5月25日	第1回理事会	大 分 市
6月9日～10日	畜産経営分析システム研修会	東 京 都
6月10日	第1回通常総会	大 分 市
7月4日～6日	新任基礎研修(経営指導担当者)(総務・経理担当者)	東 京 都
7月 7日	大分県共進会全体会議	大 分 市
8月 8日	全共大分県最終予選会	玖 珠 町
8月16日	経営指導従事者研修(基礎)	兵 庫 県
8月25日	第5回大分県農業総合戦略会議	大 分 市
8月31日	中間管理職研修会	東 京 都
9月 6日	管理責任者研修 (WEB開催)	大 分 市
9月30日	国政・県政予算要望意見交換会	大 分 市
10月1日	大分県畜産共進会(肉牛の部)	犬 飼 町
10月6日～10日	第12回全国和牛能力共進会	鹿 児 島 県
10月18日	包括外部監査(公認会計士・大分県)	大 分 市
10月22日・23日	大分県畜産フェスタ	別 府 市
10月25日	大分県畜産共進会(肉用牛の部)	玖 珠 町
11月4日	公益法人の立入検査(大分県)	大 分 市
11月25日	全国優良畜産経営管理技術発表会	東 京 都
11月28日	令和4年度上期監査	大 分 市
2月3日	第2回中央打合会 (WEB参加)	大 分 市
2月14日	第2回理事会	大 分 市
3月12日	佐賀競馬ミルクウィーク	佐 賀 県
3月15日	第2回通常総会	大 分 市
3月23日	第6回大分県農業戦略会議	大 分 市

7. 会員の状況

寄託金及び会費一覧表

(令和5年3月31日現在)

(単位:口、千円)

会 員 名	価 格 安 定				家 畜 衛 生		経 営 支 援	合 計
	子 牛		肉 豚		口 数	金 額	会 員 会 費	
	口 数	金 額	口 数	金 額				
【正会員】								
1 大 分 県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000	0	125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社)大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社)大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫 島 村	2	20	0	0	0	0	0	20
13 日 出 町	13	130	0	0	0	0	0	130
14 玖 珠 町	171	1,710	0	0	0	0	0	1,710
15 九 重 町	152	1,520	0	0	0	0	0	1,520
16 国 東 市	36	360	0	0	0	0	0	360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0	0	110
18 杵 築 市	71	710	0	0	0	0	0	710
19 別 府 市	16	160	0	0	0	0	0	160
20 大 分 市	48	480	0	0	0	0	0	480
21 由 布 市	148	1,480	0	0	0	0	0	1,480
22 臼 杵 市	24	240	0	0	0	0	0	240
23 津 久 見 市	2	20	0	0	0	0	0	20
24 佐 伯 市	39	390	0	0	0	0	0	390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0	0	3,030
26 竹 田 市	327	3,270	0	0	0	0	0	3,270
27 日 田 市	58	580	0	0	0	0	0	580
28 中 津 市	35	350	0	0	0	0	0	350
29 宇 佐 市	102	1,020	0	0	0	0	0	1,020
30 大 分 県 農 業 協 同 組 合	5,125	51,250	414	4,140	0	0	2,637	58,027
31 ベっぶ日出 "	79	790	2	20	0	0	106	916
32 下 郷 "	11	110	0	0	0	0	77	187
33 (公社)全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
34 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
35 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
36 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170	0	3,170
37 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970	0	3,970
38 県西地区 "	0	0	0	0	105	1,050	0	1,050
39 県北 "	0	0	0	0	347	3,470	0	3,470
40 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700	0	700
41 県西地区 "	0	0	0	0	106	1,060	0	1,060
42 県北 "	0	0	0	0	291	2,910	0	2,910
43 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120	0	120
44 県南 "	0	0	0	0	55	550	0	550
45 県西 "	0	0	0	0	37	370	0	370
46 県北 "	0	0	0	0	10	100	0	100
【賛助会員】								
1 シェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
総 合 計	21,059	210,590	1,628	16,280	5,137	51,370	6,810	285,050

正 会 員 46

賛 助 会 員 1

8. 業務実施事項

(1) 業務運営基金 (令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要	会員数	価格安定課		家畜衛生課	計
		子牛	肉豚		
寄託金					
正会員	46	210,590	15,780	51,370	277,740
賛助会員	1	0	500	0	500
計	47	210,590	16,280	51,370	278,240
補助金					
全国肉用牛振興基金協会	—	12,000	—	—	12,000
計	—	12,000	—	—	12,000
合計		222,590	16,280	51,370	290,240

II 事業実施状況

(経営支援課)

1. 畜産生産能力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進事業）

〔1 家畜能力等向上強化推進 (2)肉用牛 ②多様な種雄牛の活用促進対策 ア希少系統種雄牛産子肥育奨励金〕

地域固有の希少系統や牛白血病発症抵抗性遺伝子保有など多様な形質を持つ種雄牛産子の県内における枝肉成績の判明率向上、並びに多様な牛肉生産に対するニーズに即した県有種雄牛の利用促進のため、県内協力肥育経営体（26 経営体）に対して、肥育開始された肥育素牛（199 頭）1 頭当たり 11,950 円の奨励金を交付した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
国庫補助金	2,380,000	2,378,050

(内訳)

(単位：頭、円)

肥育素牛の父牛	計 画		実 績	
	頭数	補助金額	頭数	補助金額
美馬桜	52	1,040,000	35	418,250
勝美2	30	600,000	16	191,200
文照福	6	120,000	1	11,950
松吹雪	13	260,000	111	1,326,450
隆誉	6	120,000	7	83,650
光安花	8	160,000	28	334,600
高福花	4	80,000	1	11,950
合 計	119	2,380,000	199	2,378,050

2. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化に向けて、肉用牛優良繁殖雌牛の導入や農家の高齢化等に対応するためのヘルパー活動の支援を行い、増頭を促進した。また、強化哺乳技術を活用した早期出荷支援のための新規事業にも取り組んだ。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
農畜産業振興機構 補助金	32,750,000	10,231,548

(1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

1) 中核的担い手育成増頭推進

肉用牛経営が優良な繁殖雌牛を計画的に増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金として14頭に対して1,340,000円（1頭当たり80,000円（3頭）、育種価要件の高い牛には100,000円（11頭））を交付した。増頭数及び育種価要件を満たす頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	補助金額	頭数	補助金額
大分県 農業協 同組合	中部営農経済センター(由布)	1	100,000	0	0
	西部営農経済センター(日田)	5	440,000	0	0
	西部営農経済センター(玖珠)	10	1,000,000	2	200,000
	南部営農経済センター	21	2,100,000	0	0
	豊肥営農経済センター	141	14,100,000	10	940,000
	北部営農経済センター	20	2,000,000	2	200,000
小 計		198	19,740,000	14	1,340,000
下郷農業協同組合		5	500,000	0	0
合 計		203	20,240,000	14	1,340,000

2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において多様な系統群による改良基盤の強化を推進するため、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の奨励金として5頭に対して420,000円(要件により60,000円が1頭、90,000円が4頭)を交付した。要件とされている希少系統に属する個体の貸付頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	補助金額	頭数	補助金額
大分県 農業協 同組合	西部営農経済センター(日田)	4	300,000	1	60,000
	豊肥営農経済センター	9	810,000	4	360,000
合 計		13	1,110,000	5	420,000

3) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・拡大を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の奨励金として16頭に対して1,000,000円(育種価等要件により50,000円が11頭、90,000円が5頭)を交付した。育種価要件を満たす貸付頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	補助金額	頭数	補助金額
大分県 農業協 同組合	西部営農経済センター(日田)	6	340,000	5	330,000
	西部営農経済センター(玖珠)	5	250,000	0	0
	西部営農経済センター(飯田)	2	100,000	0	0
	豊肥営農経済センター	40	3,600,000	10	620,000
小 計		53	4,290,000	15	950,000
べっぶ日出農協		1	50,000	1	50,000
合 計		54	4,340,000	16	1,000,000

4) 肉用牛ヘルパー推進

農家の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、ヘルパー要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進等の活動を支援し、各肉用牛ヘルパー利用組合の利用者に対して利用料金の 1/3 (定休型) ~1/2 以内で奨励金として交付した。

(単位：円)

事業実施者	計 画		実 績	
	事業費	補助金額	事業費	補助金額
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,057,630	441,955	1,043,790	438,675
湯布院町肉用牛ヘルパー利用組合	771,945	357,622	671,845	312,122
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	4,622,754	1,893,003	3,665,796	1,491,421
豊後大野市肉用牛定休型ヘルパー組合	3,379,860	1,033,844	3,263,168	994,494
合 計	9,832,189	3,726,424	8,644,599	3,236,712

5) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関との調整、実績確認、肉用牛ヘルパー組織への推進指導を実施した。

(2) 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業

1) 早期出荷支援対策

肉用牛繁殖経営が優良な子牛を出荷した場合に、要件を満たした代用乳購入量に応じた奨励金として 131 頭に対して 786,000 円 (1 頭当たり 6,000 円) を交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者	計 画		実 績		
	頭数	補助金額	交付頭数	補助金額	
大分県 農業協 同組合	豊肥営農経済センター	145	870,000	100	600,000
	北部営農経済センター	38	228,000	27	162,000
	小 計	183	1,098,000	127	762,000
べ っ ぶ 日 出 農 協		5	30,000	4	24,000
合 計		188	1,128,000	131	786,000

2) 肉用牛振興推進指導

強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業を円滑に実施するための関係機関との調整、対象代用乳の購入及び、出荷成績の実績確認等を実施した。

3. 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金等借入者の早期経営改善に向け、関係機関と一体となって総合的な支援、指導を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	3,000,475	2,432,709

実施事項	人数 戸数	内 容
都道府県支援推進協議会の開催	1回 (12名)	大分県大家畜・養豚特別支援協議会構成員を参集し前年度事業実施報告並びに本年度事業実施について協議した。
融資機関への指導・助言	4機関	畜特資金の制度、資金融通後の融資機関の役割と借受者に対する支援指導について助言指導を行った。
経営改善計画作成・見直し計画作成指導	2戸	酪農経営2戸の経営改善見直し計画作成に関する支援・指導を行った。
経営改善計画達成指導	9戸	肉用牛経営5戸、酪農経営4戸を対象に改善計画に対する達成状況、改善状況の把握並びに支援・指導を行った。また、酪農経営2戸を対象に濃密指導を行った。
その他借入者への指導事項	26名	融資機関、関係機関等を対象に、会計データを活用した畜産経営の問題解決について研修会を開催した。

4. 家畜防疫・衛生指導対策事業

家畜伝染病等の発生時に備えた防疫演習、防疫対策の取組啓発等を行うとともに、地域防疫体制の整備・定着を図った。また、農場HACCP認証に向けた構築指導、認証後のフォローアップを行うとともに農場HACCP認証取組促進の周知活動を行い、農場HACCP認証制度の構築、強化・維持、普及を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	4,548,000	4,182,228

実施事項	回数	人数	内 容
1 地域自衛防疫推進事業 ①自衛防疫取組促進会議の開催	2回	24名	自衛防疫演習開催に関する検討並びに事業実施内容を検証した。
②自衛防疫演習の開催	4回	529名	生産者、県、市町村、関係機関を対象に実地演習を1回、飼養衛生管理基準改正に係る講習並びに実地演習を3回開催した。
2 地域農場 HACCP 認証支援事業 ①農場 HACCP 普及推進会議の開催 地域取組促進活動	1回	19名	生産者、県、関係機関を対象に農場HACCPの概要・取組事例現地研修会を開催した。
②構築指導事業	24回	6農場	農場HACCP認証取得並びに認証制度維持に向け取り組む農場の支援を行った。 構築指導3農場、フォローアップ3農場

5. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助により県内畜産経営の支援強化を行い、地域畜産の活性化や安全で安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
地方競馬全国協会 補助金	16,315,000	16,315,000

(1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

畜産農家（肉用牛経営、酪農経営）を対象に、経営面・技術面からの分析を行い、その結果に基づく支援・助言指導を行った。また、畜産経営に対して優良雌牛の導入やヘルパー活動を支援するなど生産基盤の強化を図るとともに、後継者・担い手の確保並びに新規就農に向けて研修会等を開催し、地域の畜産振興に努めた。

(2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

県産畜産物の消費拡大に向けて、生産者組織と連携してメディア等を活用した広報活動や県内の小学校での食育活動を行い、地域畜産の活性化と畜産物への理解の促進を図った。

また、家畜伝染病等の発生防止に向けて防疫演習、防疫対策等に取り組み、農場でのバイオセキュリティの強化を図るとともに、農場HACCP認証への取り組みや普及活動に努めた。

(3) 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

県馬事畜産振興協議会とともに佐賀競馬場での冠レース等への副賞提供や、九州各県の馬事畜産振興協議会と連携して佐賀競馬ミルクウィークとして乳製品の無料配布を実施するなど、畜産振興と地方競馬の振興に努めた。

6.全国優良経営発表会調査費

畜産農家の優良経営を募集・収集し、中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に肉用牛肥育経営の（有）高田牧場（仲井光則、高志：豊後高田市）を推薦するとともに、発表会への取組を支援し、農林水産大臣賞を受賞した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 補助金	124,000	124,000

7.畜産コンサルタント委託事業

肉用牛経営及び酪農経営に対して、経営診断による経営改善指導を行い、畜産経営の安定を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県 委託費	2,643,000	2,643,000

(1) 畜産経営技術総合支援指導

経営管理や生産技術の分析を行い、改善項目について関係機関と連携をとり改善指導を実施した。

1) 経営改善指導

経営改善の必要な肉用牛経営、酪農経営を対象に経営面・技術面からの経営診断を実施し助言指導を行った。

2) 経営管理指導

肉用牛経営、酪農経営を対象に経営診断を行った。また、酪農経営を対象にした経営検討会に参画し助言指導を行った。

3) 生産技術指導

肉用牛経営に生産技術、経営計画の支援指導を行った。

(2) 分析結果報告書の作成

経営診断分析結果を取りまとめて報告書を作成した。

《対象経営戸数》

(単位：戸)

	肉用牛	酪農	合計
経営改善指導	3	2	5
経営管理指導	12	2	14
生産技術指導	1	0	1
合計	16	4	20

8. 肉用牛担い手確保総合対策事業（畜産インターンシップ対策）

肉用牛経営の新規参入促進を図るため、就農イベントを実施し(1回)、県内外からの肉用牛定休型ヘルパー希望者に対し研修への対応や、新規就農希望者7名を対象とした先進農家2戸での現地研修も実施した。また、新規就農者8名に対し削蹄研修及び経営計画作成等の研修会を実施した。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	3,596,000	2,912,830

9. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会の機械施設借受者13名(肉用牛経営2戸、酪農経営11戸)に対して、機械施設16台の保管状況の確認と管理状況の調査並びに適正な利用について指導を行った。

また、県内各農協等に本事業の説明をするとともに、新規利用推進を図った。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産近代化リース協会 委託費	244,000	218,860

10. 地域畜産支援指導等体制強化事業

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織会員の個々のスキルアップ及び交流を図るための研修会を開催した。また、生産者・生産者組織等からの各種相談対応に応じるため、畜産コンサルタント団員の派遣及び研修会受講による職員のスキルアップを行った。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,500,000	2,490,454

1 1. 公庫資金活用推進事業

(1) 地域連携支援事業

養豚・養鶏（採卵鶏、ブロイラー、冠地どり、豊のしゃも）協会員への堆肥処理の状況並びに活用状況等のアンケート調査は、日本政策金融公庫大分支店より依頼がなかった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
日本政策金融公庫 委託費	150,000	0

(2) 課題解決サポート事業

中央畜産会と事業実施契約を締結したが、日本政策金融公庫からの依頼がなかった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	20,000	0

1 2. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

(1) 全国推進事業

1) 全国実態調査業務（畜産クラスター全国推進事業）

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な経営情報を収集するため、県内の先進的な肉用牛経営9戸、酪農経営1戸を対象に経営調査を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	800,000	800,000

2) 改善効果調査業務（畜産クラスター推進事業（改善効果））

畜産クラスター事業を活用し機械導入した肉用牛経営1戸を対象に導入前後の経営調査を行い、畜産クラスター事業活用の改善効果を検証した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	150,000	150,000

(2) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

地域を支える畜産農家の支援のため、各畜産クラスター協議会が策定したクラスター計画に基づき収益性の向上を図るために機械導入事業を推進し、窓口団体として事業推進業務を実施した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	2,649,000	2,598,026

	要望調査 (配分予定数)			参加申請 (令和5年3月31日)		
	協議会数	取組主体数	機械台数	協議会数	取組主体数	機械台数
令和4年度	10	41件	87台	10	36件	74台

実施事項	回数	人数	内 容
全国事業推進会議	2回	15人	11/29 令和5年度機械導入概要並びに令和4年度機械導入事業留意事項について
		29人	1/19 令和4年度機械導入事業留意事項並びに令和5年度機械導入事業要望について
事業説明会	2回	15人	11/29 令和4年度機械導入事業参加申請書留意事項
		29人	1/19 令和4年度機械導入事業参加申請書留意事項並びに令和5年度要望スケジュールについて
機械導入状況調査に係る現地確認	2日間	4協議会 6取組主体	導入された機械装置11台について、リース事業者による検収作業を補完するための現地確認作業 〔杵築市・竹田市・国東市 ・豊後高田畜産クラスター協議会〕

(3)生産基盤拡大加速化事業 (肉用牛)

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、各畜産クラスター協議会の構成員が取り組む繁殖牛の増頭を支援した。(17.5万円/頭または24.6万円/頭)

※実績頭数 490頭 増頭奨励金 110,742千円

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
全国肉用牛振興基金協会 委託費	2,168,100	1,954,739

13.生産技術情報提供事業 (生産技術指導情報の収集)

酪農経営2戸、肉用牛経営3戸(繁殖1戸、肥育2戸)を対象に家畜生産性に係るデータ収集と、生産性向上のためのデータ分析を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	445,000	445,000

14. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（酪農労働省力化対策事業）

酪農家における労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入並びに当該機械装置と一体的な施設整備を支援するため、県酪農協並びに酪農家に対し事業の普及推進を行った。本年度の実施農家は無かった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	185,000	473,856

15. 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT等機械装置等導入事業）

酪農・肉用牛経営の生産基盤強化に資するため、酪農・肉用牛経営におけるICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援することにより、過重となっている労働時間の削減を加速化し、計画的な生産性向上の支援事業の普及推進を行った。本年度の実施農家は無かった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	148,000	224,676

16. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和に伴い、第83回大分県畜産共進会は肉牛の部(50頭)を10月1日に豊後大野市、肉用牛の部(48頭)を10月25日に玖珠町で開催した。なお、乳用牛の部は中止された。

一方、10月22日・23日に別府市で開催された農林水産祭において畜産フェスタを開催し、一般消費者を対象に県産豚肉や鶏卵、鶏肉の展示販売を行い畜産に関する理解醸成、県産畜産物の消費拡大を推進するために、生産者・県・関係機関と連携し取り組んだ。

17. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援（団体事務委託）

経営支援課内に団体支援室を設け各団体の事務局業務並びに各活動の支援を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
団体事務委託収入	1,183,000	1,183,080

18. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規程に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
登記・登録料	155,000	171,600

主 な 種 別	計 画	実 績
黒豚生産農場認定	1 施設	1 施設
子 豚 登 記	80 頭	84 頭
種 豚 登 録	25 頭	2 頭

19. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対し情報提供を行うとともに、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行った。

また、ホームページで畜産関係者、消費者に向け情報提供を行った。

(価格安定課)

1. 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間：令和2年度～令和6年度）

令和4年1月～令和4年12月の間において、その他の肉専用種、乳用種の品種で子牛平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、生産者補給金の発動があった。黒毛和種、褐毛和種、交雑種の品種に当たって発動はなかった。

<制度の仕組み>

四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、本制度契約生産者がその期間中に販売、又は自家保留した登録肉用子牛に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る。

(1) 保証基準価格・合理化目標価格と平均売買価格 (単位：円)

		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	令和4年1月～3月	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400
	令和4年4月～6月	668,500	553,100	—	210,000	293,300
	令和4年7月～9月	605,400	536,800	—	149,500	275,400
	令和4年10月～12月	614,000	534,100	—	127,400	301,400

*その他の肉専用種は令和2年度より算定期間が1年（4月～3月）となった。

(2) 生産者補給金交付実績

【乳用種】

(単位：人、頭、円)

交付対象期間	対象生産者数	交付金単価	交付対象頭数	交付金額
令和4年7月～9月	3	14,500	525	7,612,500
令和4年10月～12月	3	36,600	154	5,636,400
合計	6	—	679	13,248,900

(3) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	契約者数					備考
	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	
個人	1,220	1,221	965	972	982	
農協	—	—	—	—	—	
農協連	—	—	—	—	—	
農事組合法人	3	3	3	4	4	
株式会社	9	13	21	23	24	
有限会社	12	13	14	17	20	
民法法人	—	—	—	—	—	
合計	1,244	1,250	1,003	1,016	1,030	

(4) 事務委託契約締結状況

事務委託先	事務委託先数					備考
	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	
J A 農 協	5	5	5	3	3	
専 門 農 協	2	2	2	2	2	県酪、熊本
農 協 連	1	1	1	1	1	全農大分県本部
そ の 他	1	1	1	1	1	配合飼料基金
合 計	9	9	9	7	7	

(5) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳 (単位：頭)

品種	個体登録頭数					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒 毛 和 種	3,072	2,849	2,870	2,962	11,753	
褐 毛 和 種	0	3	2	1	6	
その他の肉専用種	0	0	1	0	1	
乳用種の品種	881	525	338	163	1,907	
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	521	420	357	359	1,657	
合 計	4,474	3,797	3,568	3,485	15,324	

(6) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金(生産者積立金の額) (単位：円)

品種	生産者 積立金	負担区分		
		機構(1/2)	県(1/4)	生産者(1/4)
黒 毛 和 種	1,600	800	400	400
褐 毛 和 種	6,000	3,000	1,500	1,500
黒毛和種及び褐毛和種 以外の肉専用種の品種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種の品種	6,800	3,400	1,700	1,700
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	3,200	1,600	800	800

(7) 生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品種	区分	契約 頭数	積立 単価	積立所要 額	負担区分		
					機構(1/2)	県(1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	10,627	1,600	17,003,200	8,501,600	4,250,800	4,250,800
	新規	1,126		1,801,600	900,800	450,400	450,400
	計	11,753		18,804,800	9,402,400	4,701,200	4,701,200
褐毛和種	継続	3	6,000	18,000	9,000	4,500	4,500
	新規	3		18,000	9,000	4,500	4,500
	計	6		36,000	18,000	9,000	9,000
その他肉専用種	継続	1	18,800	18,800	9,400	4,700	4,700
	新規	0		0	0	0	0
	計	1		18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種の品種	継続	0	6,800	0	0	0	0
	新規	1,907		12,967,600	6,483,800	3,241,900	3,241,900
	計	1,907		12,967,600	6,483,800	3,241,900	3,241,900
肉専用種と乳 用種の交雑の 品種	継続	1,352	3,200	4,326,400	2,163,200	1,081,600	1,081,600
	新規	305		976,000	488,000	244,000	244,000
	計	1,657		5,302,400	2,651,200	1,325,600	1,325,600
合計	継続	11,983	-	21,366,400	10,683,200	5,341,600	5,341,600
	新規	3,341		15,763,200	7,881,600	3,940,800	3,940,800
	計	15,324		37,129,600	18,564,800	9,282,400	9,282,400

(8) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

区分		保証基準価格の品種区分						計						
		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種								
I 期 首 残 高	(1)	生産者積立金						35,114,135	105,600	0	27,061,675	8,941,735	71,223,145	
	(2)	生産者積立準備金						198,697,233	0	0	0	0	198,697,233	
	内 訳	(3)	生産者の負担金充当分						56,054,996	-	-	-	-	56,054,996
		(4)	県の生産者積立助成金充当分						142,642,237	-	-	-	-	142,642,237
		(5)	機構の生産者積立助成金充当分						0	-	-	-	-	0
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	(6)	生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)						9,852,800	22,500	9,400	9,725,700	2,895,200	22,505,600	
	(7)	生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)						8,952,000	13,500	9,400	3,241,900	2,407,200	14,624,000	
	(8)	計						18,804,800	36,000	18,800	12,967,600	5,302,400	37,129,600	
	内	生 産 者	(9)	負担金					450,400	4,500	0	3,241,900	244,000	3,940,800
			(10)	生産者積立準備金(3)からの繰入					4,250,800	4,500	4,700	0	1,081,600	5,341,600
		(11)	小計					4,701,200	9,000	4,700	3,241,900	1,325,600	9,282,400	
		県 訳	(12)	生産者積立助成金					0	0	0	0	0	0
	(13)		生産者積立助成金(4)からの繰入					4,701,200	9,000	4,700	3,241,900	1,325,600	9,282,400	
	(14)		小計					4,701,200	9,000	4,700	3,241,900	1,325,600	9,282,400	
	機 構 訳	(15)	生産者積立助成金					9,402,400	18,000	9,400	6,483,800	2,651,200	18,564,800	
		(16)	生産者積立助成金(5)からの繰入					0	0	0	0	0	0	
		(17)	小計					9,402,400	18,000	9,400	6,483,800	2,651,200	18,564,800	
	そ の 他	(18)	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産					0	0	0	0	0	0	
	III 他 の 資 金 か 繰 ら 入 の 状 況 等	(19)	特別の積立金から生産者積立金への繰入金額						0	0	0	0	0	0
(20)		償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額						0	0	0	0	0	0	
(21)		生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額						0	0	0	0	0	0	
(22)		生産者積立金に係る運用果実						792	0	0	633	204	1,629	
(23)		生産者補給金交付額(21)を含む						0	0	0	0	0	0	
(24)		生産者積立金から借入金返済額						0	0	0	0	0	0	
(25)		生産者分生産者積立準備金に係る運用果実						989	0	0	0	0	989	
(26)		県分生産者積立準備金に係る運用果実						2,281	0	0	0	0	2,281	
(27)		機構分生産者積立準備金返還金						0	-	-	-	-	0	
IV 期 末 残 高	(30)	生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)						53,919,727	141,600	18,800	40,029,908	14,244,339	108,354,374	
	(31)	生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)						184,076,503	0	0	0	0	184,076,503	
	内 訳	(32)	生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)-(28)					50,714,385	-	-	-	-	50,714,385	
		(33)	県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)					133,362,118	-	-	-	-	133,362,118	
		(34)	機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)					0	-	-	-	-	0	

2 . 肉用牛肥育経営安定交付金制度（業務対象年間：令和4年度～令和6年度）

本制度の肥育牛交付金交付実績は、8,683頭に対して292,872,598円であった。肉専用種は3,970頭に対して152,335,761円、交雑種については、2,505頭に対して51,541,594円、乳用種については、2,208頭に対して88,995,243円の交付を行った。

（1）交付基準

肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和することを目的に、生産者と県からの拠出金（交付金の額の1/4に相当する額）と農畜産業振興機構からの交付金（交付金の額の3/4に相当する額）を併せて標準的販売価格と標準的生産費との差額の9割を交付する。

（2）1頭当たり生産者負担金

（単位：円）

区分	1頭当たりの生産者負担金			備考
		うち生産者	うち大分県	
肉専用種	17,000	16,250	750	
交雑種	19,000	18,170	830	
乳用種	19,000	18,470	530	

（3）積立頭数の内訳

（単位：頭）

区分	4月1日 ～6月30日	7月1日 ～9月30日	10月1日 ～12月31日	1月1日 ～3月31日	計
肉専用種	2,780	3,992	1,940	2,086	10,798
交雑種	1,349	1,640	1,106	885	4,980
乳用種	839	868	310	718	2,735
計	4,968	6,500	3,356	3,689	18,513

（4）肥育安定基金の造成状況

（単位：円）

区分		肉専用種	交雑種	乳用種	合計	
期首残高 ①		52,870,767	79,351,407	38,965,016	171,187,190	
増加	積立金 造成実績	大分県 補助金 ②	5,071,200	2,642,720	839,520	8,553,440
		準備金 ③	3,027,300	1,490,680	610,030	5,128,010
		生産者 ④	175,467,500	90,486,600	50,515,450	316,469,550
		計 ⑤=(②+③+④)	183,566,000	94,620,000	51,965,000	330,151,000
	受取肥育牛交付金（機構3/4分） ⑥	114,251,754	38,690,120	66,761,476	219,703,350	
	運用益 ⑦	1,066	907	405	2,378	
	小計 ⑧=(⑤+⑥+⑦)	297,818,820	133,311,027	118,726,881	549,856,728	
合計 ⑨=(①+⑧)		350,689,587	212,662,434	157,691,897	721,043,918	
減少	肥育牛交付金	機構(3/4)分 ⑩	114,251,754	38,690,120	66,761,476	219,703,350
		基金(1/4)分 ⑪	38,084,007	12,851,474	22,233,767	73,169,248
		合計 ⑫=(⑩+⑪)	152,335,761	51,541,594	88,995,243	292,872,598
	第1業務対象年間無事戻し金	生産者 ⑬	42,827,371	71,799,191	32,492,274	147,118,836
		大分県 ⑭	10,043,474	6,713,790	1,694,657	18,451,921
合計 ⑮	52,870,845	78,512,981	34,186,931	165,570,757		
合計 ⑯=(⑫+⑮)		205,206,606	130,054,575	123,182,174	458,443,355	
期末残高 ⑰=(⑨-⑯)		145,482,981	82,607,859	34,509,723	262,600,563	

(5) 交付金単価算定結果

(単位：円)

区 分		令和4年					
		1月期	2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,233,060	1,194,604	1,221,928	1,269,964	1,213,369	1,233,016
	標準の生産費(B)	1,086,502	1,089,079	1,091,747	1,122,964	1,126,229	1,129,696
	差額(C) = (A) - (B)	146,558	105,525	130,181	147,000	87,140	103,320
	交付金単価 = (C) × 0.9 (生産者積立金払底後交付金単価)	-	-	-	-	-	-
交雑種	標準の販売価格(A)	711,650	687,377	718,076	765,903	750,114	724,691
	標準の生産費(B)	700,086	701,288	697,084	686,601	724,986	759,068
	差額(C) = (A) - (B)	11,564	△ 13,911	20,992	79,302	25,128	△ 34,377
	交付金単価 = (C) × 0.9	-	12,519.9	-	-	-	30,939.3
乳用種	標準の販売価格(A)	452,170	447,817	444,221	454,395	463,073	463,955
	標準の生産費(B)	490,623	496,130	495,742	480,929	473,056	483,052
	差額(C) = (A) - (B)	△ 38,453	△ 48,313	△ 51,521	△ 26,534	△ 9,983	△ 19,097
	交付金単価 = (C) × 0.9	5,020.8	51,054.3	50,246.1	39,903.3	42,264.9	43,892.1

区 分		令和4年						令和5年
		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,251,485	1,159,634	1,180,731	1,230,334	1,246,414	1,265,179	1,204,074
	標準の生産費(B)	1,216,205	1,219,572	1,223,307	1,275,443	1,279,646	1,283,758	1,273,837
	差額(C) = (A) - (B)	35,280	△ 59,938	△ 42,576	△ 45,109	△ 33,232	△ 18,579	△ 69,763
	交付金単価 = (C) × 0.9	-	53,944.2	38,318.4	40,598.1	29,908.8	16,721.1	55,786.7
交雑種	標準の販売価格(A)	725,711	697,658	704,291	722,141	725,541	746,027	719,540
	標準の生産費(B)	763,670	745,726	728,244	733,576	727,503	718,625	736,542
	差額(C) = (A) - (B)	△ 37,959	△ 48,068	△ 23,953	△ 11,435	△ 1,962	27,402	△ 17,002
	交付金単価 = (C) × 0.9	34,163.1	43,261.2	21,557.7	10,291.5	1,765.8	-	8,301.8
乳用種	標準の販売価格(A)	470,022	469,295	471,089	479,135	478,075	474,719	477,731
	標準の生産費(B)	512,657	518,687	516,043	526,924	519,147	529,348	528,707
	差額(C) = (A) - (B)	△ 42,635	△ 49,392	△ 44,954	△ 47,789	△ 41,072	△ 54,629	△ 50,976
	交付金単価 = (C) × 0.9	38,371.5	44,452.8	40,458.6	43,010.1	36,964.8	49,166.1	38,878.4

※ 肉専用種についてはブロック算定とし、交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※ 交付金単価について、R4.1月分は精算払単価、R4.2月～R4.12月分は確定単価、R5.1月は概算払単価。

※ 生産者負担金納付猶予対象牛については、国庫分(3/4)となる。

(6) 肥育牛交付金交付実績総括表

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和4年 1月期 (精算金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	177	5,020.8	888,682
		納付猶予	—	6		22,593
計			7	183	—	911,275
令和4年 2月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	268	12,519.9	3,355,326
		納付猶予	—	12		112,678
	乳用種	通常	—	168	51,054.3	8,577,119
		納付猶予	—	0		0
計			20	448	—	12,045,123
令和4年 3月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	192	50,246.1	9,647,249
		納付猶予	—	1		37,684
計			7	193	—	9,684,933
令和4年 4月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	161	39,903.3	6,424,429
		納付猶予	—	0		0
計			7	161	—	6,424,429
令和4年 5月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	203	42,264.9	8,579,772
		納付猶予	—	0		0
計			6	203	—	8,579,772
令和4年 6月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	319	30,939.3	9,869,632
		納付猶予	—	1		23,204
	乳用種	通常	—	179	43,892.1	7,856,684
		納付猶予	—	0		0
計			21	499	—	17,749,520
令和4年 7月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	349	34,163.1	11,922,916
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	196	38,371.5	7,520,812
		納付猶予	—	0		0
計			22	545	—	19,443,728

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和4年 8月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	687	53,944.2	37,059,653
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	298	43,261.2	12,891,833
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	182	44,452.8	8,090,408
		納付猶予	—	0		0
計		54	1,167	—	58,041,894	
令和4年 9月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	571	38,318.4	21,879,795
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	317	21,557.7	6,833,784
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	173	40,458.6	6,999,335
		納付猶予	—	0		0
計		48	1,061	—	35,712,914	
令和4年 10月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	647	40,598.1	26,266,961
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	339	10,291.5	3,488,815
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	132	43,010.1	5,677,330
		納付猶予	—	0		0
計		53	1,118	—	35,433,106	
令和4年 11月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	825	29,908.8	24,674,743
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	299	1,765.8	527,968
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	146	36,964.8	5,396,858
		納付猶予	—	0		0
計		57	1,270	—	30,599,569	
令和4年 12月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	684	16,721.1	11,437,219
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	187	49,166.1	9,194,059
		納付猶予	—	0		0
計		42	871	—	20,631,278	
令和5年 1月期 (概算金額)	肉専用種	通常	—	556	55,786.7	31,017,390
		納付猶予	—			
	交雑種	通常	—	303	8,301.8	2,515,438
		納付猶予	—			
	乳用種	通常	—	105	38,878.4	4,082,229
		納付猶予	—			
計		8	964	—	37,615,057	
合計	肉専用種	通常	—	3,970	—	152,335,761
		納付猶予	—	0	—	0
		小計	—	3,970	—	152,335,761
	交雑種	通常	—	2,492	—	51,405,712
		納付猶予	—	13	—	135,882
		小計	—	2,505	—	51,541,594
	乳用種	通常	—	2,201	—	88,934,966
		納付猶予	—	7	—	60,277
		小計	—	2,208	—	88,995,243
	計		352	8,683	—	292,872,598

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

3 . 大分県肉豚価格安定対策事業（業務対象年間：令和3年度～令和5年度）

独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度に参加する県内の肉豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。

【県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構に積立てを行った。】

(1) 生産者負担金単価

(単位：円)

区 分	生産者負担金単価	内 容	
		内 県補助金	内 生産者負担分
第1四半期～第4四半期	400	60	340

(2) 事業対象頭数

233,843頭

(3) 肉豚補てん準備金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		122,856,574	前期繰越金
増加	運用益	2,216	
	小 計	2,216	
減少	養豚基金負担金支出	7,015,290	
	小 計	7,015,290	
期 末 残 高		115,843,500	

(4) 肉豚補てん積立金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	7,015,290	
	小 計	7,015,290	
減少	養豚基金負担金支出	7,015,290	
	小 計	7,015,290	
期 末 残 高		0	

4. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

生産者補給金交付契約を締結した生産者の個体識別及び個体登録、保留確認、生産者に対する啓発指導及び業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる報告並びに、家畜市場での取引情報を収集し機構へ報告した。

また、本制度の適正な実施を図るため事務委託先及び契約生産者に対して肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	14,013,000	13,930,712

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	6,790,000	6,790,000

5. 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業

肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者として、農畜産業振興機構の委託を受け、事業の円滑な実施を図るため、事務委託先並びに契約生産者に対する調査・指導を行うとともに、円滑な交付金の交付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	8,200,000	8,087,017

6. 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（経営改善推進対策、和子牛産地強化推進対策）

黒毛和種子牛価格が下落するなど、肉用子牛生産者の経営環境は悪化しており、肉用子牛の生産基盤の維持・強化を図るための取組みを行う肉用子牛生産者に対して、肉用子牛市場価格が発動基準価格より下がった場合、その対象月に販売された肉用子牛に奨励金1頭当たり10,000円（30,000円）を交付した。

また、令和4年9月販売より、事業の要件拡充のため、別に定めた取組みを行う和子牛生産者に対して、追加で奨励金1頭当たり10,000円を交付した。

(1) 奨励金交付頭数及び交付額【経営改善推進対策】

区 分	品種区分	交付対象		奨励金交付額	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
令和4年6月～ 12月分	黒毛和種	687	1,458	10,000	14,580,000
	褐毛和種	1	3	30,000	90,000
	乳用種	3	151	30,000	4,530,000
合 計	合 計	691	1,612	—	19,200,000

(2) 奨励金交付頭数及び交付額【和子牛産地強化推進対策】

区 分	品種区分	交付対象		奨励金交付額	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
令和4年9月～ 12月分	黒毛和種	680	1,450	10,000	14,500,000
	褐毛和種	1	3	10,000	30,000
合 計	合 計	681	1,453	—	14,530,000

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	36,410,000	36,083,078

7. 和子牛生産者臨時経営支援事業

令和4年5月に急落した肉用子牛の価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、市場等で取引される和子牛の平均売買価格（四半期別）が発動基準を下回った場合、当該平均売買価格と発動基準の差額の4分の3を支援し、肉用子牛生産基盤の安定を図るため、参加申込書の取りまとめ（866件）を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	702,000	580,215

(家畜衛生課)

1. 家畜生産農場衛生対策事業

ヨーネ病等の防疫対策、牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策、牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行防止対策を推進し、また、農場自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
国庫補助金	8,320,000	7,175,512
事業収入（BVD病自己資金）	196,000	136,310

(1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査（糞便の細菌培養）

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数 0頭

※円安の進行・輸送コストの高騰により導入の中止

(2) 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：令和4年12月13日（火）

演 題：「牛伝染性リンパ腫の現状とその効果的対策について」

講 師：宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター 准教授 目堅 博久 氏

(3) BVD 清浄化対策

BVD の清浄化を図るためバルク乳等を用いた検査の実施及び持続感染牛（PI牛）の自主とう汰を実施する。また講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

BVD 自主検査 43 検体（バルク）

PI 牛自主とう汰 4 頭

講習会の開催

開催日：令和4年12月13日（火）

演 題：「BVDの実情とその効果的対策について」

講 師：宮崎大学農学部獣医学科 准教授 関口 敏 氏

(4) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。年々、参画する産業動物獣医師が増えており、併せて僅かではあるが飼養衛生管理基準が改善傾向にある。

・ 検討会の開催 1回

・ 農場指導 293 戸（延べ戸数 372 戸）

(5) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。

2. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	5,959,000	5,680,171

(1) 死亡牛検査処理安定化対策

輸送費及び化製処理費に対する補助

[補助対象頭数及び助成金額]

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	R4年度合計
96ヶ月齢以上 (頭)	71	106	84	107	368
助成金額 (円)	811,500	1,208,000	961,000	1,226,500	4,207,000

3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金を給付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	12,484,000	12,354,646

給付対象学生 : 11名 (国 1/2 大分県 1/2)
令和4年度卒業生は2名 (県内産業動物獣医師として就業1名、辞退1名)

4. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	15,273,000	15,272,637

給付対象学生 : 11名 (国 1/2 大分県 1/2)
2名 (県)
合計 13名
インターンシップ研修を受けた学生 : 2名 (県)

5. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚熱等の特定家畜伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,300,000	2,248,541

(1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

(2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

契約戸数(戸)		家畜の種類	契約頭数(頭)	積立金額(円)	
乳用牛・肉用牛	958	・乳用牛(24ヶ月齢以上)	8,414	2,061,430	
		・乳用牛(24ヶ月齢未満)	3,836	345,240	
		・肉専用繁殖雌(24ヶ月齢以上)	16,469	3,870,215	
		・肉専用繁殖雌(24ヶ月齢未満) 及び肉専用肥育牛	23,733	2,966,625	
		・交雑種	6,733	639,635	
		・乳用種肥育牛	3,802	342,180	
		計	62,987	10,225,325	
豚	家族型	5	・繁殖用種豚(雌)	548	205,500
			・" (雄)	30	11,250
			・肥育豚	5,260	552,300
			小計	5,838	769,050
	企業型	19	・繁殖用種豚(雌)	11,905	4,642,950
			・" (雄)	232	90,480
・肥育豚			120,680	13,274,800	
		小計	132,817	18,008,230	
		計	138,655	18,777,280	
合 計				29,002,605	

6. 自衛防疫強化総合対策事業

区 分	予算額(円)	決算額(円)
大分県 補助金	174,000	174,000

(1) 推進事業の開催

開催年月日	会議名	開催場所
R5.1.26	予防注射事業標準対価表検討会	全農おおいた
R5.1.26	牛病部会	全農おおいた
R5.3.27	家畜衛生専門委員会	書面開催

(2) 調査資料の作成

対象農家	農場数
養豚農家	48戸
養鶏農家	140戸
計	188戸

(3) 広報活動

- ・立ち入り禁止ステッカー 1,200部
- ・入場者記録手帳 1,200部

7. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	1,138,000	1,240,000
事業収入 (自己資金)	1,138,000	1,289,385

- (1) 施設運営費・・・コンテナ維持管理電気料
 任意労災保険
 フォークリフト年次・月次検査手数料
- } 1/2 補助

8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	496,000	405,418

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催
 令和4年11月22日(火)開催
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催
 令和4年11月22日(火)開催
 演題：「日常遭遇する馬の疾病とその対処法について」
 講師：JRA日本中央競馬会 馬事部防疫課 係長 倉持 雄太 氏
- (3) 地域馬獣医療実態調査
 調査戸数 32戸

9. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	658,000	619,038

- (1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催
 令和4年11月22日(火)開催
- (2) 馬インフルエンザ接種頭数 44頭

10. 野生獣衛生推進体制促進事業

地域において家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制の構築、推進を行うとともに、野生獣被害の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会助成金	4,350,000	4,279,689

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催 (年3回)

第1回 令和4年5月23日 (月)

第2回 令和4年12月7日 (水)

・講習会 演題:「イノシシの都合からみた養豚場の衛生対策について」

講師:麻布大学 生命・環境学部教授

フィールドワークセンター所長 江口祐輔 氏

第3回 令和5年3月7日 (火)

(2) 野生獣の衛生実態調査

イノシシ 71頭 (検査項目 重症熱性血小板減少症候群・E型肝炎・オースキー病・豚繁殖呼吸障害症候群・トキソプラズマ症・豚流行性下痢)

シカ 25頭 (検査項目 牛パラインフルエンザ-3・牛RS・イバラキ病・IBR)

1.1. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者と、牛せき柱以外分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
日本畜産副産物協会 委託費	250,000	259,714

事業対象食肉業者 1社

1.2. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	82,872,000	82,680,159

国庫補助事業・協会単独事業実績

牛疾病

(単位:頭)

協議会名	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	異常産四混	ヘモフィルス
県中央	991	989	0	0	0	1,388	1,068
県南	5,003	4,916	0	2,866	0	4,630	4,920
県西	2,962	2,970	0	0	0	3,840	2,962
県北	1,875	1,861	0	0	181	3,949	1,861
合計	10,831	10,736	0	2,866	181	13,807	10,811

鶏疾病

(単位:千羽)

協議会名	ND	NDIB
	生	生
県中央 (大分市)	120	0
県南地域 (大野地区)	0	18
県西地区	0	0
県北	0	0
合計	120	18

1 3. 種畜精液保管譲渡推進事業

大分県肉用牛振興の基本方針に基づき、豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	15,411,800	15,132,217
事務手数料収入	1,651,000	1,656,080

種雄牛別譲渡数 (単位：本)

令和4年度		令和3年度		令和2年度	
種 雄 牛	本数	種 雄 牛	本数	種 雄 牛	本数
加代白清	4,564	桜花久	2,147	葵白清	2,671
葵白清	3,499	葵白清	2,119	加代白清	1,025
桜花久	1,240	松吹雪	1,669	安森照	737
安白清	870	加代白清	1,617	平福安	646
安森照	725	安森照	1,189	繁白合	514
他	2,142	他	2,929	他	2,121
合 計	13,040	合 計	11,670	合 計	7,714

1 4. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付
報告なし

1 5. 自衛防疫普及啓発事業

自衛防疫を推進するため、家畜の疾病及び飼養衛生管理に関する研修会の開催や啓発資料の作成・配布を実施した。

- ・市場日程表への啓発資料掲載

1 6. 高能力雌牛保留促進事業 (ゲノム育種価検査)

繁殖農家等がゲノム育種価評価の手法を活用し、能力が一定以上 (県内雌子牛の概ね1/4以上) ある高能力雌牛を選抜保留するため、雌子牛のゲノム育種価検査を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
検査事務手数料収入	800,000	850,000

検査頭数	当初計画	実績
	400頭	425頭